

事業所名		やまださん家(児童発達支援)				支援プログラム		作成日		2026	年	8	月	25	日
法人(事業所)理念		一人ひとりの個性と発達段階を尊重し、さまざまな経験を通して「できた」「やってみたい」という気持ちを育みます。子どもが自分らしく成長し、将来につながる生きる力の土台を育みます。													
支援方針		子ども一人ひとりの発達段階や特性、興味・関心を丁寧に捉え、安心して過ごせる環境の中で、遊びや日常生活を通したさまざまな経験を提供します。「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の領域を踏まえ、子どもの「できた」「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、成功体験を積み重ね、自信や自己肯定感につながる支援を行います。 また、保護者や関係機関と連携し、子どもの成長をともに支え、家庭や地域での生活につながる力を育てます。													
営業時間		平日	9	時	30	分	18	時	30	分	送迎実施の有無		ありなし		
学校休業日		8	時	30	分	17	時	30	分						
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康状態や生活リズムを把握し、一人ひとりが安心して活動できる環境を整えます。食事・排泄・着替え・身支度・片付けなどの日常生活動作について、発達段階に応じた支援を行います。													
	運動・感覚	遊びや運動を通して、姿勢保持、歩行、バランス、体の使い方、手指の操作などの発達を促します。また、視覚・聴覚・触覚・固有感覚など一人ひとりの感覚特性を把握し、安心して活動できるよう支援します。													
	認知・行動	色・形・数・大小・時間・空間などの概念を、遊びや日常生活の中で分かりやすく経験できるよう支援します。絵カードや視覚的な手がかり等を活用し、活動の見通しやルールを理解できるよう支援します。													
	言語コミュニケーション	子どもの「伝えたい」「分かってほしい」という気持ちを大切に、言葉だけでなく、表情・身振り・絵カードなど一人ひとりに合った方法で意思を伝える力を育てます。遊びや人とのやり取りを通して、コミュニケーション能力を育てます。													
	人間関係社会性	職員との安心できる関係を基盤として、友だちとの遊びや集団活動を通じ、人と関わる楽しさを経験できるよう支援します。順番を待つ、貸し借りをする、ルールを守る、気持ちを伝えるなどの基本的な社会性を育てます。													
家族支援		保護者の思いや悩みに寄り添い、子どもの発達や特性について共通理解を深めながら、家庭での関わり方や環境調整について一緒に考えます。日々の送迎時や面談等を通して成長や課題を共有し、必要に応じて相談支援や情報提供、関係機関との連携を行います。							移行支援		保育所・幼稚園・認定こども園や学校等への移行を見据え、集団生活への適応を支援します。				
地域支援・地域連携		保育所・幼稚園・学校、相談支援事業所、医療機関、行政等の関係機関と必要に応じて情報共有や連携を行います。また、地域の社会資源を活用した活動や交流の機会を設け、子どもが地域の中でさまざまな経験を積めるよう支援します。							職員の質の向上		事業所内研修や外部研修への参加、ケース検討等を通して、発達特性に応じた支援の実施能力を向上させます。				
主な行事等		季節の行事、制作活動、調理活動、誕生日会、運動・レクリエーション、外出活動、地域交流、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等を実施します。さまざまな経験を通して、興味・関心や人との関わりを広げます。													